

3. 補遺 1 複素数の平方根

1.6 節で述べたように、数 a に対して、 $x^2 = a$ となる数 x を a の平方根という。1.8 節で述べたように、実数の範囲では -1 の平方根は無い。このように、実数の範囲で考えると、任意の実数に対してその平方根があるとはいえない。しかし、複素数の範囲で考えると、任意の複素数に対してその平方根がある。

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める.

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

$(x + iy)^2 = x^2 - y^2 + 2ixy$ なので

$$x^2 - y^2 + 2ixy = 5 - 12i .$$

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

$(x + iy)^2 = x^2 - y^2 + 2ixy$ なので

$$x^2 - y^2 + 2ixy = 5 - 12i .$$

x と y とは実数なので, $x^2 - y^2$ 及び $2xy$ も実数である.

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

$(x + iy)^2 = x^2 - y^2 + 2ixy$ なので

$$x^2 - y^2 + 2ixy = 5 - 12i .$$

x と y とは実数なので, $x^2 - y^2$ 及び $2xy$ も実数である. 従って定理 1.9.1 より,

$$x^2 - y^2 = 5 \quad \text{かつ} \quad 2xy = -12 .$$

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

$(x + iy)^2 = x^2 - y^2 + 2ixy$ なので

$$x^2 - y^2 + 2ixy = 5 - 12i .$$

x と y とは実数なので, $x^2 - y^2$ 及び $2xy$ も実数である. 従って定理 1.9.1 より,

$$x^2 - y^2 = 5 \quad \text{かつ} \quad 2xy = -12 .$$

この連立方程式を解く.

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

$(x + iy)^2 = x^2 - y^2 + 2ixy$ なので

$$x^2 - y^2 + 2ixy = 5 - 12i .$$

x と y とは実数なので, $x^2 - y^2$ 及び $2xy$ も実数である. 従って定理 1.9.1 より,

$$x^2 - y^2 = 5 \quad \text{かつ} \quad 2xy = -12 .$$

この連立方程式を解く. $x^2 - y^2 = 5$ の両辺に x^2 を掛けて

$$x^4 - x^2y^2 = 5x^2 ,$$

$$x^4 - (xy)^2 = 5x^2 ,$$

例 複素数 $5 - 12i$ の平方根を求める. $5 - 12i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく :

$$(x + iy)^2 = 5 - 12i .$$

$(x + iy)^2 = x^2 - y^2 + 2ixy$ なので

$$x^2 - y^2 + 2ixy = 5 - 12i .$$

x と y とは実数なので, $x^2 - y^2$ 及び $2xy$ も実数である. 従って定理 1.9.1 より,

$$x^2 - y^2 = 5 \quad \text{かつ} \quad 2xy = -12 .$$

この連立方程式を解く. $x^2 - y^2 = 5$ の両辺に x^2 を掛けて

$$x^4 - x^2y^2 = 5x^2 ,$$

$$x^4 - (xy)^2 = 5x^2 ,$$

$xy = -6$ なので

$$x^4 - (-6)^2 = 5x^2 ,$$

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$.

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 9$.

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 9$. よって

$$x = \pm 3 .$$

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 9$. よって

$$x = \pm 3 .$$

$xy = -6$ なので, $x = 3$ のとき $y = -2$, $x = -3$ のとき $y = 2$.

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 9$. よって

$$x = \pm 3 .$$

$xy = -6$ なので, $x = 3$ のとき $y = -2$, $x = -3$ のとき $y = 2$. 従って

$$x + iy = \pm 3 \mp 2i = \pm(3 - 2i) \text{ 複号同順} .$$

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 9$. よって

$$x = \pm 3 .$$

$xy = -6$ なので, $x = 3$ のとき $y = -2$, $x = -3$ のとき $y = 2$. 従って

$$x + iy = \pm 3 \mp 2i = \pm(3 - 2i) \text{ 複号同順} .$$

故に, 複素数 $5 - 12i$ の平方根は $\pm(3 - 2i)$ である.

$$x^4 - 5x^2 - 36 = 0 .$$

$x^2 = X$ とおくと

$$X^2 - 5X - 36 = 0 ,$$

$$(X - 9)(X + 4) = 0 ,$$

$$X = 9 \text{ または } X = -4 ,$$

$X = x^2$ なので, $x^2 = 9$ または $x^2 = -4$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 9$. よって

$$x = \pm 3 .$$

$xy = -6$ なので, $x = 3$ のとき $y = -2$, $x = -3$ のとき $y = 2$. 従って

$$x + iy = \pm 3 \mp 2i = \pm(3 - 2i) \text{ 複号同順} .$$

故に, 複素数 $5 - 12i$ の平方根は $\pm(3 - 2i)$ である.

実際に $\pm(3 - 2i)$ を 2 乗すると

$$\{\pm(3 - 2i)\}^2 = (3 - 2i)^2 = 9 - 4 - 12i = 5 - 12i .$$

終

問3.補遺1 複素数 $24 + 10i$ の平方根を求めよ.

$24 + 10i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく : $(x + iy)^2 = 24 + 10i$,
 $= 24 + 10i$. x と y とは実数なので, 及び も
実数である. 従って $x^2 - y^2 = 24$ かつ $2xy = 10$. $x^2 + y^2 = 24$ の両辺
に x^2 を掛けて, $x^4 - 2x^2y^2 + y^4 = 24x^2$, $(x^2 - y^2)^2 = 24x^2$; $xy = 5$ なので,
 $x^4 - 10x^2 + 25 = 24x^2$, $x^4 - 34x^2 + 25 = 0$, $(x^2 - 25)(x^2 - 1) = 0$, $x^2 = 25$ また
は $x^2 = 1$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 25$. よって $x = \pm 5$.
 $xy = 5$ より, $x = 5$ のとき $y = 1$, $x = -5$ のとき $y = -1$. 従って
 $x + iy = \pm(5 + i)$ (複号同順) .

故に複素数 $24 + 10i$ の平方根は $\pm(5 + i)$ である.

問3.補遺1 複素数 $24 + 10i$ の平方根を求めよ.

$24 + 10i$ の平方根を $x + iy$ (x, y は実数) とおく : $(x + iy)^2 = 24 + 10i$,
 $= 24 + 10i$. x と y とは実数なので, $x^2 - y^2$ 及び $2xy$ も
実数である. 従って $x^2 - y^2 = 24$ かつ $2xy = 10$. $x^2 - y^2 = 24$ の両辺
に x^2 を掛けて, $x^4 - x^2y^2 = 24x^2$, $x^4 - (xy)^2 = 24x^2$; $xy = 5$ なので,
 $x^4 - 5^2 = 24x^2$, $x^4 - 24x^2 - 25 = 0$, $(x^2 - 25)(x^2 + 1) = 0$, $x^2 = 25$ また
は $x^2 = -1$. x は実数なので $x^2 \geq 0$, 従って $x^2 = 25$. よって $x = \pm 5$.
 $xy = 5$ より, $x = 5$ のとき $y = 1$, $x = -5$ のとき $y = -1$. 従って

$$x + iy = \pm 5 \pm i = \pm(5 + i) \quad (\text{複号同順}) .$$

故に複素数 $24 + 10i$ の平方根は $\pm(5 + i)$ である.